

島根県立大学人間文化学部 地域文化学科

平成 30 年度 客員教授講演会

講師 島根県隠岐郡海士町前町長 山内道雄氏

演題 「ないものはない～離島からの挑戦」

講師より、ひとこと

今年の5月に隠岐郡海士町の町長を引退いたしました。今回の演題「ないものはない」は、海士町のキャッチフレーズでもあります。このキャッチフレーズは、一見ただのいなおりのように聞こえますが、その奥には「大切なものはすべてここにあり、きちんと掘り起こして磨いて特性を活かす」という強い気持ちがあります。

地域づくりの原点は人づくり（教育）にあります。また、地域活性化の源は様々な交流にあります。文化の学びを地域づくり・活性化にどのように活かすことができるのか。文化の学びは地域にあり、そこにはヒントも答えもあると思っています。



【講師紹介】

島根県海士郡海士村（現 隠岐郡海士町）生まれ。1995年海士町議に当選、町議会議長を経て2002年に海士町長に初当選。以後、2018年後進に道を譲るまで、「自立・挑戦・交流」の町政経営指針と「住民あつての行政」という基本理念のもとで、4期16年間、行政改革に取り組む。島の資源を活かした産業創出や雇用の場づくりなどの「攻めの戦略」の推進、学校教育と地域活性化の推進を結びつけた『隠岐島前高等学校新魅力化構想』の提言など、常に持続的創造的な行政を目指してまい進し続け、その独創的な手腕は日本の地方創生に大きな示唆と希望を与えた。

日 時：平成30年10月24日（水）10：40～12：10

場 所：島根県立大学松江キャンパス 図書館棟大講義室

問合せ：0852-26-5525（代表）

※入場無料・事前申し込み不要